

小学校【6年生】 各教科等の年間学習計画と評価の観点および評価規準について

6年【国語】

学習内容		
1 学期	つないで、つないで、一つのお話 春の河／小景異情 続けてみよう 帰り道 地域の施設を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき 聞いて、考えを深めよう 漢字の広場 1 笑うから楽しい	時計の時間と心の時間 主張と事例話し言葉と書き言葉 たのしみは 文の組み立て 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき 私たちにできること 夏のさかり 私と本 森へ
2 学期	せんねんまんねん いちばん大事なものは 利用案内を読もう 熟語の成り立ち 漢字の広場 2 やまなし イーハトーヴの夢 言葉の変化 秋探し みんなで楽しく過ごすために 伝えにくいことを伝える	漢字の広場 3 『鳥獣戯画』を読む 調べた情報の用い方 日本文化を発信しよう 古典芸能の世界ー演じて伝える カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場 4 狂言 柿山伏 [柿山伏] について 大切にしたい言葉 漢字の広場 5 冬のおとずれ
3 学期	詩を朗読してしょうかいしよう 仮名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために プログラミングで未来を創る 漢字を正しく使えるように 覚えておきたい言葉 人を引きつける表現	思い出を言葉に 今、私は、ぼくは しっかう漢字の広場 6 海の命 中学校へつなげよう 生きる 今、あなたに考えてほしいこと
評価の観点		評価規準
知識・技能		・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
思考・判断・表現		・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。
主体的に学習に取り組む態度		・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとしている。
〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか評価する。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか評価する。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか評価する。 ○以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、話し合い活動の様子などを基に評価する。		

6年【社会】

学習内容		
1 学期	◇わが国の政治のはたらき 1 憲法と政治のしくみ 2 わたしたちの願いと政治のはたらき	◇日本のあゆみ 1 大昔のくらしとくにの統一 2 天皇を中心とした政治 3 貴族が生み出した新しい文化
2 学期	4 武士による政治のはじまり 5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし 6 戦国の世の統一 7 武士による政治の安定	8 江戸の社会と文化・学問 9 明治の新しい国づくり 10 国力の充実をめざす日本と国際社会
3 学期	11 アジア・太平洋に広がる戦争 ◇世界のなかの日本とわたしたち 1 つながりの深い国々のくらし 2 国際連合と日本の役割	
評価の観点		評価規準
知識・技能		・我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとするとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚をもっている。
〈評価について〉 ○单元ごとのテストやワークシートなどをもとに、我が国の政治の考え方や仕組みや社会の発展に大きな働きをした先人の業績を踏まえて、大まかな歴史を理解しているかを評価する。 ○発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論したりする力を評価する。 ○ノートやワークシートの記述から社会的事象について主体的に学習の問題を解決しようとする態度を評価する。		

6 年【算数】

学習内容		
1 学期	1、つり合いのとれた図形を調べよう 2、数量やその関係を式に表そう 3、分数のかけ算を考えよう	4、分数のわり算を考えよう ※分数の倍 5、割合の表し方を調べよう ※算数で読みとこう
2 学期	6、形が同じで大きさがちがう図形を調べよう 7、円の面積の求め方を考えよう 8、角柱と円柱の体積の求め方を考えよう 9、およその面積と体積を求めよう	※考える力をのばそう 10、比例の関係をくわしく調べよう 11、順序よく整理して調べよう ※考える力をのばそう 12、データの特ちょうを調べて判断しよう ※算数で読みとこう
3 学期	13、算数の学習をしあげよう ※算数卒業旅行	
評価の観点		評価規準
知識・技能		・ 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・ 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとするとともに、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
〈評価について〉 ○基本的な数量や図形の意味及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、小学校での算数の学習で身に付けた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができ、発展的な場面においても活用可能な技能になっているか評価する。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりしているか評価する。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しているか、問題解決の結果を常に評価・改善し続けようとしているか評価する。 ○以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとおり方やコンパス、分度器の使い方などを基に評価する。		

6年【理科】

学習内容		
1 学 期	ものの燃えかたと空気 人や動物の体 植物の養分と水の通り道	生物のくらしと環境
2 学 期	てこのしくみとはたらき 月の形と太陽 大地のつくりと変化	火山の噴火と地震 水溶液の性質 科学者の伝記を読もう
3 学 期	電気と私たちの生活 人と環境 考えよう調べよう	6年生で学んだこと もうすぐ中学生
評価の観点		評価規準
知識・技能		〔物質・エネルギー〕 ・ 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについて理解するとともに，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 〔生命・地球〕 ・ 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係について理解するとともに，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現		〔物質・エネルギー〕 ・ 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で，主にそれらの仕組みや性質，規則性及び働きについて，より妥当な考えをつくりだす力を見に付けている。 〔生命・地球〕 ・ 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で，主にそれらの働きや関わり，変化及び関係について，より妥当な考えをつくりだす力を見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		〔物質・エネルギー〕 ・ 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で，主体的に問題解決しようとしている。 〔生命・地球〕 ・ 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で，生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとしている。
〈評価について〉 ○ 单元ごとの評価テストと合わせて、ノート記述や観察シート、実験レポート、実験計画書などをもとに評価する。 ○ 条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現したことを評価する。 ○ 観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価する。また、安全面に配慮して取り組んでいるかも評価の要素とする。		

6年【音楽】

学習内容		
1 学期	○歌声をひびかせて心をつなげよう 「明日という大空」「おぼろ月夜」「星空はいつも」 ○いろいろな音色を感じ取ろう 「ラバーズコンチェルト」「木星」	・学年の始めに、卒業を意識しながら、明るく未来に向かって歌い合わせていく。歌詞の内容や曲想にふさわしい表現をグループで工夫して歌う。 ・いろいろな音色が組み合わさって生まれる響きを感じ取りながら、聴いたりパートの役割を考え工夫して演奏したりする。
2 学期	○日本の音楽に親しもう 「越天楽今様」「雅楽越天楽」 ○曲想の変化を感じ取ろう 「学習発表会に向けて」 「ハンガリー舞曲第五番」等 ○いろいろな和音のひびきを感じ取ろう 「星の世界」「雨のうた」	・日本の伝統的な音階による平安時代の音楽を演奏したり聴いたりすることで、日本古来の音楽の雰囲気味わう ・学習発表会に向けて学年で一つの音楽を表現していく。曲想と音楽の特徴との関わりを理解しながら、聴いたり工夫して表現したりする。
3 学期	○詩と音楽の関わりを味わおう 「花」「箱根八里」「荒城の月」「ふるさと」 ○世界の音楽に親しもう 「世界の国々の音楽」 ○思いを表現に生かそう 「卒業式の音楽」	・日本語の美しい歌詞やことばのもつ語感を感じ取りながら、歌詞と旋律との関わりについて考え聴いたり、好きな曲を選んで歌ったりする。 ・世界の国々の楽器の音色や声、演奏の仕方などを聴いたり見たりして、日本の音楽と比較しながらそれぞれのよさや面白さを味わう。 ・卒業式に向けて、6年間の集大成として卒業式で歌う曲について表現を工夫して歌う。
評価の観点		評価規準
知識・技能		・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
主体的に学習に取り組む態度		・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、知識の積み重ねを、楽譜や学習カードへの書き込みや発言、活動の様子、反応等でも評価する。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を表現の様子、グループ活動や学習カードなどを通して評価する。 ○友達と音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価する。		

6年【図画工作】

学習内容		
1 学期	・マイドラゴン ・色を感じて ・針金アート	・平面作品 ・造形遊び(色水) ・立体作品
2 学期	・けずって広がる絵 ・かさぶくろからつながる ・ミュージックアート	・平面作品 ・造形あそび ・立体作品
3 学期	・コマコマアニメ ・6年間のありがとう ・作品入れづくり	・タブレットを使って ・平面作品 ・1年間のまとめ
評価の観点		評価規準
知識・技能		・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
思考・判断・表現		・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度		・つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程から、本人の思いや創意工夫を評価する。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を評価する。		

6年【家庭】

学習内容		
1 学期	・生活時間をマネジメント ・できることを増やしてクッキング ・クリーン大作戦	・すずしく快適に過ごす住まい方 ・すずしく快適に過ごす着方と手入れ
2 学期	・生活を豊かにソーイング ・献立を工夫して	・生活の課題と実践
3 学期	・生活の課題と実践 ・共に生きる地域での生活	・持続可能な社会を生きる ・2年間の学習を振り返って中学校の学習に生かそう
評価の観点		評価規準
知識・技能		○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現		○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫し、実践しようとしている。
〈評価について〉 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価する。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価する。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価する。		

6年【体育】

学習内容		
1 学期	陸上運動 短距離走・リレー 体づくり運動 体ほぐしの運動 フラッグフットボール（ゴール型）	マット運動 表現運動 水泳 保健（病気の予防）
2 学期	水泳 体づくり運動 体の動きを高める運動 走り高跳び	表現運動 ソフトバレーボール（ネット型） 鉄棒運動 ハードル走 保健（病気の予防）
3 学期	体づくり運動 体の動きを高める運動 ラインサッカー（ゴール型） 跳び箱運動	
評価の観点		評価規準
知識・技能		・ 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・ 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・ 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をしようとしている。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組んでいる。
〈評価について〉 ○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力を評価する。 ○学習カードやICT機器を用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を評価の要素とする。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子を観察して評価する。		

6 年【外国語】

学習内容		
1 学 期	Unit1 This is me! 名前や好きのもの・こと、誕生日などを伝え合う。 ”Unit2 How is your school life? 世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合う。”	”Unit3 Let’s go to Italy. 行ってみたい国や地域と、その理由を伝え合う。 ””Check Your Steps 1 外国の人にメッセージを伝えるスピーチをする。”
2 学 期	Unit4 Summer Vacations in the World 世界の夏休みの過ごし方を知り、思い出を伝え合う。 Unit5 We all live on the Earth. 地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを伝え合う。	Unit6 Let’s think about our food 食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表する。 Check Your Steps 2 世界と自分のつながりを発見して紹介する。
3 学 期	Unit7 My Best Memory 小学校生活の思い出を伝え合う。 Unit8 My Future, My Dream 中学校生活や将来について考え、夢を発表する。	Check Your Steps 3 クラスみんなに寄せ書きのメッセージを伝える。
評価の観点		評価規準
知識・技能		・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
〈評価について〉 ・活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使用して話そうとしているか、またコミュニケーションを通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評価する。		

6 年【特別の教科 道徳】

学習内容		
1 学 期	道徳の時間とは よりよく生きる喜び 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 節度、節制 礼儀 友情、信頼	よりよい学校生活、集団生活の充実 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 友情、信頼 親切、思いやり 自然愛護 生命の尊さ
2 学 期	規則の尊重 親切、思いやり 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 勤労、公共の精神 感動、畏敬の念 生命の尊さ	感謝 国際理解、国際親善 生命の尊さ 公正、公平、社会正義 国際理解、国際親善
3 学 期	真理の探究 善悪の判断、自律、自由と責任 希望と勇気、努力と強い意志	感謝 よりよく生きる喜び
評価の視点		評価規準
大きくくりなまとまりをふまえた評価		・道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」を実現している。
特に顕著と認められる点が発揮された内容項目の評価		・「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」の観点で大きな成長を個人内評価として認めることができる。
〈評価について〉 ○児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取り、記述により評価する。 ○授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシート、コミュニケーションツールへの記述などをもとに肯定的な評価をする。 ○学校での日常的な生活や学習に道徳の授業で学んだ成果が認められる場合は、積極的に評価へ取り入れる。		

6 年【総合的な学習の時間】

学習内容	
1 学期	「自分達にできること～SDG s～」 【領域】文化・環境・地域 ・ SDGs の 17 の目標について本資料やインターネットで調べて、全学年に向けて発信する。その後、各目標を自分事と捉えて課題を設定する。自分達ができることが世界につながることを考え、考えた事を実践したり地域の方にも発信したり主体的な活動を行う。(SDG s)
2 学期	「世界の文化遺産」 【領域】オリパラ・国際理解・文化 ・ 他国の世界文化遺産やその他の文化を、その国の人たちとの交流などを通して理解を深め、さらに日本の世界文化遺産に目を向けて、その素晴らしさについて考える。
3 学期	「未来へ」 【領域】キャリア・国際理解 ・ 今の自分に出来ることや将来に生かしたい事を考えたり、身近な卒業生と交流したりし、夢や希望をもち、これからの自分の生き方について考える。また、卒業に向けて「学校ボランティア」を行う。学校のために奉仕活動できることを考えて実践する。(キャリアパスポートの活用)
評価の観点	評価規準
知識・技能	・ 自分の生活や身近な地域にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。
思考・判断・表現	・ 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・ 自分の生活や身近な地域についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。
〈評価について〉 ○発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・図や絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価の要素とする。 ○活動の様子や児童が努力していたところ、学習の成果などを文章で記述する。	